

四万十町使用公用車の売却について

町使用の公用車を次の条件にて売却いたします。

■申込資格

四万十町内に住所を有する個人または法人

■売却対象車両

項 目	
型 式	LE-DA62T 軽トラダンプ（スズキ）
初年度登録	平成14年3月
走行距離	53,525km（令和2年4月1日現在）
車検有効期間	令和2年3月29日（廃車済み）

■申込み資格

四万十町内に住所を有する個人または法人

■申込み方法

環境水道課備付の用紙（入札書）へ記入・押印のうえ、「入札書在中」と書した封筒へ入れて封印したものを環境水道課まで提出してください。

■入札期間

5月11日（月）～5月25日（月）

※ただし、土・日・祝日を除く午前8時30分～午後

5時（正午から午後1時を除く）

最終日は午後3時まで。

■車両公開場所

四万十町琴平町16-17 役場東庁舎駐車場内



■車両公開期間

入札期間中の土・日・祝日を除く午前8時30分～午後4時30分（正午から午後1時を除く）まで。

■払下げの決定

5月25日に開封を行います。最高入札額を提示した者に売払いを決定し、落札者のみ決定通知を送付します。

■売却条件

売却車両については、道路運送車両法に基づき登録・変更などの手続きを行い、手続き完了後、本町に証明書などの写しを提出すること。また、申請に必要な書類は落札者が全て用意するものとし、諸費用は落札者が負担することとします。

売却車両の引渡し後の故障、瑕疵などについて、本町は一切の責任を負わないものとします。

売却代金は納付書払いとし、入金および名義変更確認後、車両の引渡しを行います。

【お問い合わせ先】環境水道課 ☎22-3119

税務課からのお知らせ

◎軽自動車税の減免について

障害者手帳や療育手帳などをお持ちで、一定の要件を満たす方は、軽自動車税の減免を受けることができます。なお、この減免については、普通車を含めて1人1台に限りです。

◎継続して減免を受けられる方へ

昨年度に減免申請書を提出された方についても、毎年納期限までに申請が必要となります。関係書類を送付しますのでご確認ください。

減免申請期限（納期限）

6月1日（月）

【申請に必要なもの】

- ・印鑑（認印可）
- ・自動車検査証（車検証）
- ・運転免許証 ・身体障害者手帳など
- ・マイナンバーが確認できるもの



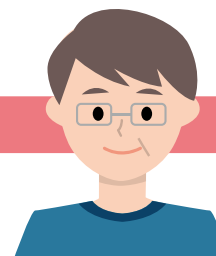
◎所得証明の発行開始時期

令和2年度所得証明（令和元年中所得）は、
・給与特別徴収の方は、5月12日（火）から、
・普通徴収・年金特徴の方は6月15日（月）から発行できます。

【お問い合わせ先】税務課 ☎22-3116

風しんの抗体検査・第5期定期予防接種クーポン券について

令和4年3月末までの間、これまで風しんの公的な予防接種を受ける機会がなく、風しんの抗体保有率の低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しん感染拡大防止のための対策を実施します。対象となる方には、無料で抗体検査および予防接種を受けることができるクーポン券を発行します。



令和2年度クーポン券発送対象者

昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性

（令和2年4月にクーポン券を発送しました）

令和元年度に発送した風しん抗体検査および予防接種クーポン券の有効期限延長

昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性には、昨年6月にクーポン券を発送しています。

令和元年度に発行したクーポン券には有効期限が2020年3月と印刷されていますが、2021年3月まで有効期限を延長します。お持ちのクーポン券は修正しなくてもそのままご使用になれますので、利用していない人はお早めにご利用ください。

生まれてくる赤ちゃんのために防ごう！大人の風しん

風しんは、感染者の飛まつ（唾液のしぶき）などによって、他の人にうつる感染力の強い感染症です。妊娠初期の妊婦が風しんに感染すると、先天性風しん症候群（眼や耳、心臓に障害がでること）の赤ちゃんが生まれてくる可能性が高くなります。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも、風しんに対する免疫を確認するための抗体検査を受けましょう。



【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115 大正町民生活課 ☎27-0112 十和町民生活課 ☎28-5112

町営塾スタッフ紹介

みなさん、こんにちは！町営塾「じゅうく。」です。

塾長が代わり、新しいメンバーを3名迎え、4月より新生「じゅうく。」としてスタートを切りました。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全面オンライン対応で塾を運営しています。4月からの通常開室を予定していましたが、高知県での感染状況や、それにともなう保護者の皆様の不安の声を鑑み、生徒の安全を第一に考えた結果、このような決断をしました。対面で行う予定だった進学指導や科目学習や面談を、ビデオチャットを使いながらオンラインで進めています。

今の状況は変化が激しく正解のない現代の象徴だと思います。何を優先して決断し、どうやって生徒に価値を届けるかを常に考えて試行錯誤を繰り返していきたいと思います。今年度は、通常の学習はもちろん、生徒の刺激になるような機会の創出や、近隣中学生へのサポートも出来ないかと考えております。「じゅうく。」として挑戦する1年にしていきたいと思いますので、応援の程、よろしくお願いいたします！

